

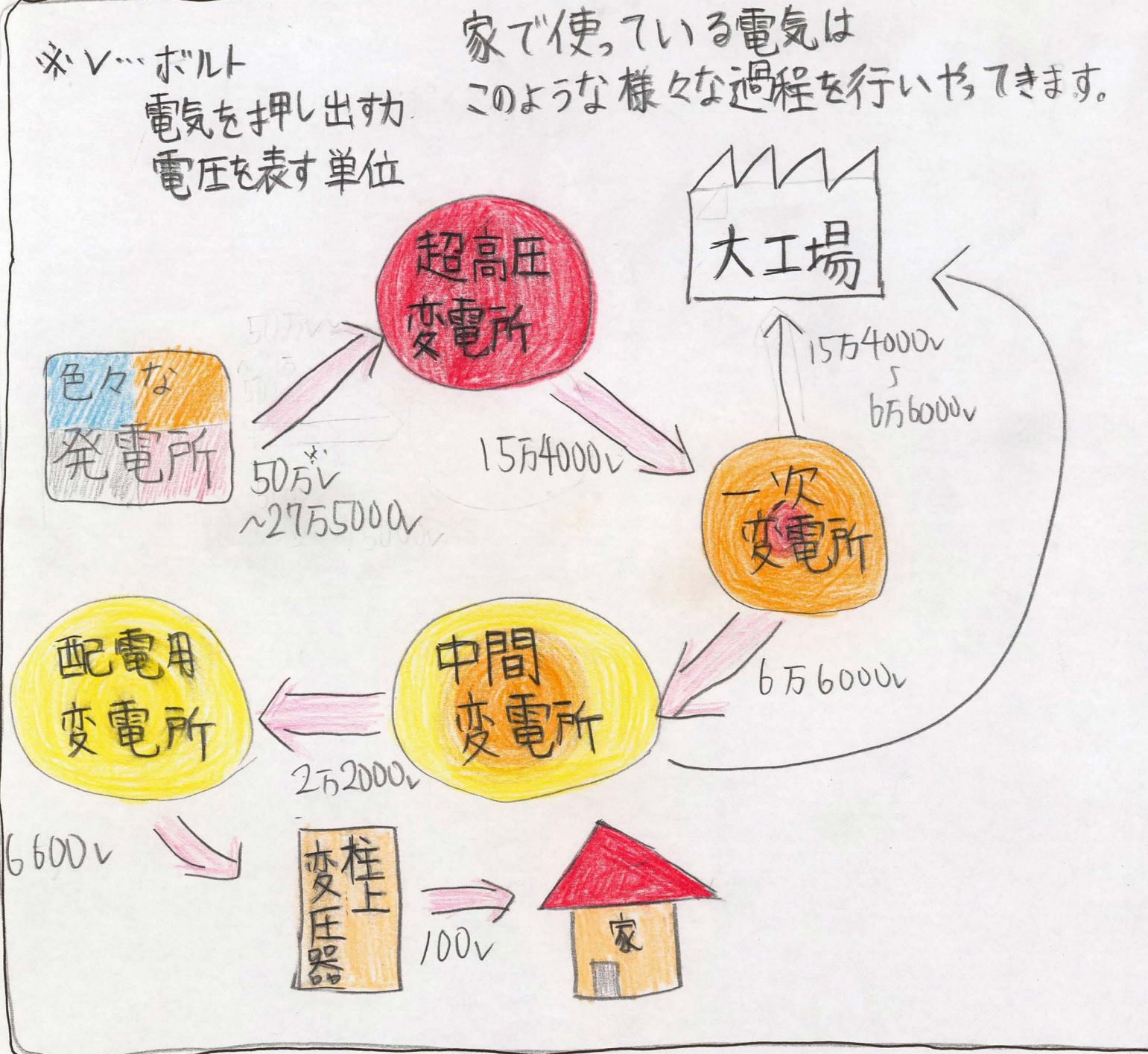
未来のエネルギー新聞

はじめに

日常の中で電気はどこに使われているのでしようか？
例えばエアコン、ドライヤー、扇風機など様々な物に使われています。
その電気はいたどこからやってくるのでしようか？

未来のためにクリーンな地球を

電気の運ばれ方？送電の仕組み



孝えよう

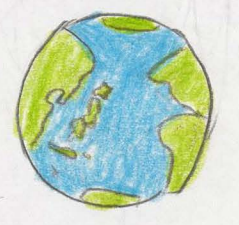
電気のない生活

もし電気がなかったら生活がとても不便になります

例えば... 洗濯機、冷蔵庫、テレビ

電気は現代に欠かせないものです

きれいな地球をとりもどそう



発電所ってなに？

発電所とは、簡単に表すと「電気をつくる場所」のことです。

いったいどのようなものでしょうか？

くわしくみていきましょう

色々な発電方法～現在よく使われる～

火力発電

化石燃料を燃やして水を蒸気にし、その勢いでタービンを回し発電する方法。大量の水が必要なため海の近くにあることが多い。現在の日本で一番使用されている。

メリット 経済的に効率がいい
デメリット CO2を多く排出する。

水力発電

高い場所から低い所に勢いよくおとし、その力を使ってタービンを回し発電するダムをつくることのできる山間部や大きな川の近くに作られる。

メリット CO2を排出しない
デメリット 建設費用が高い

原子力発電

原子炉の中でウランが核分裂する時に水をわかして蒸気を作り、その力でタービンを回し発電する。

メリット CO2を排出しない
デメリット 事故が起きた場合処理が大変

注目！再生可能エネルギー

潮力	地熱	風力	太陽光
潮の満ち引きの高低差を利用し、流れた海水でタービンを回して発電する。	地表から井戸を掘ることによって溜った蒸気や熱水で発電する。	風のカで風車を回し、回転運動を発電機に送り発電する。	シリコン半導体に光が当たると電気が発生し、エネルギーの性質を変え、発電する。
メリット 気象変動の影響が少ない デメリット 設置場所が限定される	メリット 発電量が安定している デメリット 開発が難しく時間がかかる	メリット 海の上でも発電できる デメリット 騒音の心配がある	メリット 電気料金の削減 デメリット 発電量が安定しない

注目！バイオマス発電

メリット

- 環境にやさしい
- もともとゴミになるはずだった物を活用できる
- 天候に左右されない

デメリット

- コストが高い
- 量に限りがある

燃料の種類

- 木質バイオマス (木材) → 小型発電
- バイオディーゼル (廃食用油) → ジェット燃料
- バイオエタノール (さとうきび) → エタノール
- バイオガス (排せつ物、生ゴミ) → バイオガス発電

仕組み

植物が光合成でCO2を吸収して成長する。燃やしてCO2を排出する。排出したCO2を回収して植物に再利用する。これを「カーボンニュートラル」といいます。

地球を守るために私達ができること

- ・暑い夏がたりたり寒がたりたりする場合、エアコンや暖房をつけすぎない。
- ・シャワーの時の水の量は最低限にする。
- ・普通の電球ではなくLEDライトをつかう。
- ・自家用車ではなく公共交通機関を利用する。

このような身近な取り組みでもみんながやることでCO2を減らす第一歩になると思います。